

# 府中市の取組を紹介します



ほっとするね 緑の府中  
府中市



## 1. 新庁舎の建設

### 新庁舎イメージ



©千葉学建築計画事務所・久米設計 設計共同体

※設計者選定の際の提案のイメージです。設計を進めるなかで変更となる可能性があります。

現在の庁舎は、多摩地域において最も古い庁舎となっており、耐震性の不足や施設・設備の老朽化、建物の狭あい化・分散化、バリアフリー対応の不足などの課題を解消するため、新庁舎建設に向けた取組を進めています。

現在は、平成27年2月に策定した府中市庁舎建設基本計画の内容をもとに設計を進めています。基本計画の策定に当たっては、市民検討協議会や職員検討会などを開催し、庁舎を利用する市民や職員の意見を取り入れながら検討を行いました。

今後は、平成29年10月までに実施設計を完成させ、新庁舎が大規模地震などの災害時において防災・災害復興拠点の役割を果たせるとともに、「市民に親しまれ、府中らしさを受け継ぐまちづくりの拠点となる庁舎」を目指し、準備を進めていきます。

## 2. 府中市中心市街地活性化基本計画

にぎわい創出により市民や来訪者が集い交流する文化・歴史ある中心市街地の形成へ

### 本市の中心市街地では、近隣市

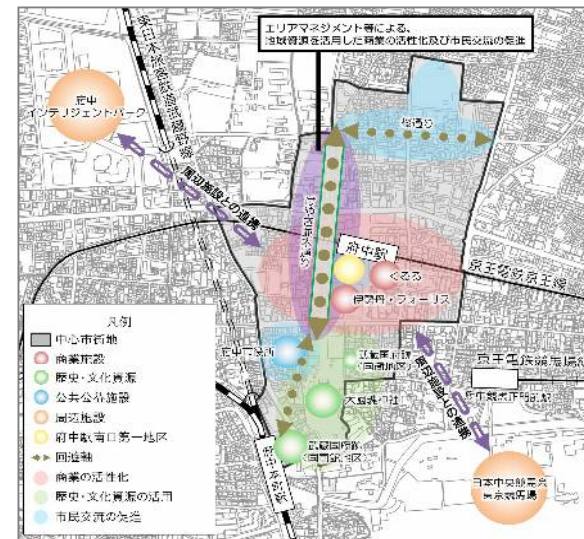
で進む再開発事業などの影響により、経済活力の向上や回遊性の創出、市民交流の増進などの課題が生じてきています。また、今後、本市東部地域で計画されている大規模商業施設の開業により、これらの課題への更なる影響が懸念されています。



府中のけやき並木

このことから、本市全体の活力の向上を図るとともに、その核として魅力とにぎわいを創出する本市の「顔」にふさわしい中心市街地を形成するため、

「府中市中心市街地活性化基本計画」を策定し、平成28年6月17日に国からの認定を受けました。今後は、府中駅南口第一地区の再開発事業や国司跡武蔵国府跡国司館地区の保存活用事業などを基軸に各種事業を展開し、本市の中心市街地の活性化を目指します。





### 3. ラグビーのまち府中



府中市はラグビーのまちです。市にはサントリーサンゴリアス及び

東芝ブレイブルーパスの2つのトップチームがホームタウンとするほか、ジュニアラグビーチームの活動をはじめ、各小学校の授業等でタグラグビーが盛んにおこなわれるなど、ラグビー文化が根付いています。

また、市では「ラグビーのまち府中」の更なる発展に向けて、ラグビーワールドカップ2019及び東京2020オリンピック・パラリンピックのキャンプ地誘致を目指しており、ラグビーを重要な地域資源の一つとして捉え、市民や市内事業者、関係団体との協働によるまちづくりを進めています。



ラグビーワールドカップ2015  
日本代表選手報告会の様子

その取組のひとつとして、「ラグビーのまち府中推進委員会」を結成し、現在、「ラグビーのまち府中」を象徴するシンボルマークを募集するなど、様々な取組を進めています。



### 4. 新給食センターの建設



## 新給食センター完成予想図



### 平成29年度2学期より、

新給食センターから市内すべての小・中学校に、給食の提供をします。

現在、府中市の小学校19校及び全中学校が、給食センター方式、小学校3校は自校調理方式で学校給食の提供を行っていますが、老朽化が進んでいることから、建て替え工事が進められています。

新給食センターでは、給食の調理・提供を行うだけでなく、食育の拠点として、調理実習室で地元食材を使った料理講座を実施するなど、様々な活用を行います。

